

ますはら

「希望の門とする」

「私はそこで、ぶどう畑を彼女に与え アコルの谷を希望の門として与えよう。彼女はそこで、おとめであった日々のように またエジプトの地から上って来た時のように 私に答える。」

(ホセア書 第2章17節・旧約聖書1385頁)

はじめに

復活された主イエスはペトロに「私を愛するか」と語られました。しかしペトロは裏切った過去にとらわれ、はっきりと「私はあなたを愛しています」と言えませんでした。ところが主は「それでもいいから、私に従ってきなさい」と憐れみの言葉をかけてくださいました。今日開くホセア書のテーマを一言で言うなら「神は、裏切られてもなお私を愛し続けてくださる」です。その主題を心に留めながら、この箇所を見ていくことにします。

神の憐れみ

中世に『神学大全』を著したトマス・アクィナスという神学者がいます。ドミニコ会の修道士でもあった彼は「私の弱い信仰をお嘆きにならず、私の祈りを聞き入れてください。私があるあなたを見捨てても、あなたは私を見捨てないでください。私があるあなたから離れても、あなたは私から離れないでください。私が逃げ出しても呼び戻し、反抗しても引き寄せ、倒れても起き上がらせてください」という祈りの言葉を残しています。なんと自分勝手な祈りなのだろうと思われるでしょうか。顧みてください。私たち今まで幾度も御心に背いてきてはいませんか。ところが、そのたびに神は裁かれるどころかそれを赦し、私たちを引き寄せ、愛して下さってこられました。ホセアを裏切り続けた妻、ゴメル姿、それが私たちです。神は、だれもがゆるせないと思われるような行動を繰り返しているゴメルを憐れみ、すべてを包み込んでくだ

さる。神の憐れみは、私たちが考えている寛容を超えて、どこまでも深いのです。

与えられるぶどう畑

憐れみとの言葉に含まれているのは、赦しだけではありません。「恵み」と訳すことも出のですが、「ぶどう畑を彼女に与え」とあるように、驚くことに、赦しに加えて、祝福をもたらされていることです。神は、私の背信を赦し、天からの祝福に満たしてくださるのです。

希望の門とする

さらに法外な約束が書かれています。アコルの谷、それはヨシュアたちがアイに敗北した原因であるアカンの裁きの場所、神の燃える怒りが収められていた場所です(ヨシュア7:26)。そこが希望への入口になるとあります。

どういうことか。いうまでもなく、私たちの失敗、敗北、背反、裏切り、すべての痛みの記憶を消し去ってくださるということであり、過去を振り返って、そこが落ち込む原因ではなく、自分の恵みの転機だったのだと思えるようにしてくださる。そしてこの神の憐れみのわざによって、失敗の場所「アコル」に立ちながら、希望を見いだすことができるようにして下さるという、神の約束なのです。

神に従い続けていこうとしても、失敗するかもしれない。しかし、神はそれを憐れみ、私たちを希望の門に立たせてくださるのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「それゆえ、私は彼女をいぎない 荒れ野に導いて、彼女に優しく語りかける。私はそこで、ぶどう畑を彼女に与え アコルの谷を希望の門として与えよう。彼女はそこで、おとめであった日々のように またエジプトの地から上って来た時のように 私に答える。その日になると あなたは私を『わが夫』と呼び もはや再び私を『わがバアル』と呼ぶことはなくなる—主の仰せ。」(ホセア書 2:16～19)

神さま、私は何度あなたを裏切ったことでしょう。あるときには背を向け、あるときには



御心に従えずに罪の中にありました。それなのにあなたは私を愛し、憐れんでくださって、その慈しみを表してくださいました。感謝にたえません。あなたの憐れみがどれほど深いものであることをわかっていただきました。これからも私は、「従います」と言いながらも、あなたの御旨に反することをすることもできません。裏切るかもしれません。しかし、どうぞそんな時こそあなたの憐れみに目を留めて、

「従う」ことができますように。ゴメルのように、ベトロのように扱ってください。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (102) 第5章5節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「彼女の足は死へと下り その歩みは陰府に達する。」

◎口語訳 「その足は死に下り、その歩みは陰府の道におもむく。」

◎新改訳 「その足は死に下り、その歩みはよみに通じている。」

「死と陰府」

子どもの賛美歌に「福音の汽車」があります。私も教会学校の教師をやらせていただいた時に『福音の汽車に乗ってる 天国行きに ポッポー』と歌いました。今は聞きません。「汽車」自体が文化遺産になりかけているわけですから、しかたないことです。逆に「地獄に落ちる」は今も通用し、呪いの言葉のように使われてしまっています。この「地獄」と聖書にある「陰府」はかなり違いがあります。ここでも取り上げたのですが、「陰府」は最初、死んだ者すべてが行く場所として考えられていたふしがあります。ヤコブは、ヨセフが死んだと思ったときに「わが子のもとに、陰府へと下って行こう」(創世記 37:35)と言っています。ところが、上ではなく下に行くとの発想から、徐々に「地の下」、「深い穴」「暗い世界」=「滅び」、「神との交わりが閉ざされてしまう世界」と、見方が変わってい

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

くのです。この箴言での陰府は、イザヤ書 14 章などにあるような、穴の底に投げ落とされたり、腐った肉のように忌み嫌われるなどのイメージをもって語られています。死んで行った先には、神が手を広げて待っているのではなく、暗い中を降り続け、そして最悪な環境に到達する。父は「よその女」の誘惑に陥って、神の知恵から目をそらしてしまうと、いつの間にか、戻ることができない神との交わりを分断された世界に入り込み、腐り果ててしまうのだと教えたのです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第4編2節「あなたは私を苦しみから 解き放ってくださいました。」◆口語訳では「解き放ってください」を「くつろぐ」と訳している。良い訳だ。「どうぞ、くつろいでください」と言われても、自分の家でないと遠慮もあるから、自分をさらけ出し「くつろぐ」ことなどできない。ダビデが神の前にくつろげたのは、遠慮がなかったからだ。立場もなにも関係なく、自分をさらけ出していられたからだ。神を信頼するとは、そのような姿勢ではないか。もし、神に対し、他人行儀に着飾っていたら、堅苦しくて仕方ない。くつろぐどころではないではないか。

●賛美 / 143 ●祈禱課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第5編4節「主よ、朝に私の声を聞いてください。朝が来る度に、あなたに向かって身を整え 待ち望みます。」◆あなたは朝一番初めに何をしますか。ぼやぼやしていると忙しくしながら一日が終わってしまうだろう。神はあなたの声を聞きたいと思っている。あなたの祈りを待っておられる。だから、まず起きた時、「神さま、感謝します。今日も一日よろしくお願いします」でもいいから、一言でも神に祈るべきだ。必ずあなたの一日が祝福される。聖書を読み、賛美をするならば、必ずあなたの一日に勝利がもたらされる。ダビデはそう言っている。

●賛美 / 144 ●祈禱課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第6編3節「主よ、憐れんでください。私は病み衰えています。主よ、癒やしてください。私の骨はおののいています。」◆病気になると、このまま治らずに死んでしまうのではないかと感じる。同じように、問題が起これ、悩み始めると、このまま改善されず、もう私はだめだと思ってしまう。そのような時、我慢する必要はない。心にある洗いざらい野気持ちを神に祈ろう。「私はだめです」「もう立ち上がれません」。自分の言葉が出つきたころ、神は不思議な力によって心を一変させてくださる。まずすべてを注いで神に祈ることだ。

●賛美 / 145 ●祈禱課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第7編2節「わが神、主よ、私は御もとに逃れました。迫り来るすべての者から私を救い 助け出してください。」◆自分に落ち度があれば、うらまれても納得できる。だが、その理由もわからず命を狙われるようなことは実際に起こりうる。「あおり運転」の末の暴行などはその良い例だ。だが、私たちが「神の前に落ち度がありません」と言えない状況だったときに、神に助けを求め、その結果を委ねることは難しくなる。その時があるからこそ、常に神の前に悔い改めつつ、神の御心をうかがいながら、正しい道を歩もうとしなければならない。

●賛美 / 146 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第8編5節「人とは何者なのか、あなたが心に留めるとは。人の子とは何者なのか、あなたが顧みるとは。」◆自分の高ぶりを感じたら、空を仰ぐといい。ダビデはある夜、悩みがあったのはわからないが、外に出て、空を仰いだ。そこには満天の星。そしてながめるうちに、吸い込まれていくかのような広大な宇宙を感じ、それを造られた神に思い至る。自然の営みを見、そこに自分の身を置いた時、自分の小ささ、醜さ、情けなさが知らされるだろう。同時に、その自分にどれほどの恵みが注がれているか気づくのだ。

●賛美 / 147 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第9編16節「国々は自ら掘った滅びの穴に落ち 自ら仕掛けた網に足を取られる。」◆人が息苦しくなり、また悩みに陥るのは、人間関係が存在するからだ。家族であろうとなかろうと、人の言動によって私たちの心は傷つき、うめく。だが、そこで自分が手を下すのではなく、とにかく神に委ねよう。神は今まで頼る私たちをないがしろにされなかったではないか。あのエステル記の出来事のように、神は敵を自滅させることがおできになる。その様子を知る必要はない。神は、そのように御手を動かされる。神が報復されることを信じよう。

●賛美 / 148 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第10編1節「主よ、なぜあなたは遠く立ち 苦難の時に身を隠されるのですか。」◆自分が孤立無援のように感じることもある。そんな時、神が自分との交わりを嫌って距離を置かれているのではない。自分の心が神から遠のいているから、そう感じるのだ。あるいは悩みが大きくなりすぎて、神の姿が見えなくなってるのだ。詩編の詩人たちはどんな時でも、祈りをやめなかった。神への叫びを続け、そして、結果、信仰的な取り扱いを受け、勝利を得ている。だから、私たちも、神のほうにもっともっと近づいていこう。

●賛美 / 149 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【マルコによるふくいんしよ 10:35～45】

「つかえるものとなる」

(マルコ10:44)

ヤコブとヨハネは きょうだいで、イエスさまの弟子になりました。あるとき、ふたりがイエスさまのところにきました。そして「せんせい おねがいがあるのですが」といいます。イエスさまが「なんだい」ときくと、「イエスさまが おうさまになったときには わたしたち きょうだいを あなたの みぎと ひだりにすわるものとさせてください」。でしたちのなかでも いちばんうへの くらいにしてくださいといったのです。

イエスさまは あきれるように いいました。「あなたたちは なんて そんなことを きにするのか。だれが えらくなるか そんなことは わたしたちのはたらきに なんのかんけいもないことだよ」。それをきいていた でしたちも かんかんになって おこりました。おこったということは、ほかの でしたちも でしたちのなか

で いちばん そんけいされるものになりたいとおもっていたからに ほかなりません。

だれでも えらくなりたいものです。でも イエスさまは こういいました。「えらくなりたいとおもったならば、みんなにつかえるものになりなさい。リーダーになりたいとおもったならば、みんなのなかで いちばん くらいひくいものだとおもって みんなにつかえるのです」。

イエスさまは かみさまでしたが、かみさまの くらいをすててにんげんとなり、しかもそのにんげんの けがれたつみを ごじぶんが せおい、みがわりになって じゅうじかで しんでくださった おかたでした。それこそ、みんなにつかえるひとでした。それによって、わたしたちは すくいを うけることができたのです。

あなたは どうですか。じぶんが いちばんえらいんだと いばりたくなるときがありますか。いばったからといって、みんなが しあわせになるわけではないのです。

●かんがえてみよう

☆イエスさまに でしたちのなかで いちばん えらいものにして下さい といってきた では だれでしたか。(マルコ 10:35)

☆ほかの でしたちは ふたりのことを して どんな たいどでしたか。(マルコ 10:41)

☆イエスさまは そのことを きいて、どのように さとされましたか(マルコ 10:43、44)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

あわらせてください

く	て	だ			い		す	わ
せ	ら				く		さ	て
			ら			せ	だ	
い	く					す	せ	ら
ら	せ		わ				て	い
					せ	わ		さ
す	い	ら				て		
て	わ			だ		さ	い	せ
さ	だ			い		く	ら	す

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① いえとらひたち
- ② きみしろのん
- ③ はいしゃし
- ④ かさきず

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「熱海」

子どもたちが熱海に行ってきたそうです。20年前まではほんとうにさびれていたのですが、若者にターゲットをしばった町おこしが成功し、今や大人気スポットになりました。

熱海は江戸時代から知られた有名な温泉町だったのですが、普通の温泉街を一大観光地にしたのは「熱海の海岸散歩する 寛一お宮の二人連れ」と歌にもなった『金色夜叉』です。明治時代の作家、尾崎紅葉のこの小説が引き金になり、その舞台であ

る熱海の海岸にはお宮を足蹴にする寛一の銅像も設置され、以来、首都圏からも近かったこともあり、私の子ども時代には、新婚旅行や社員旅行といえは熱海が定番となりました。駅の改札を出ると旅館やホテルからお迎えに来たスタッフが旗を持ってずらっと並んでいたのを今でも覚えています。

でも、熱海はその時、将来への備えをしていなかったんですね。いつまでも続くと思っていたらそうではない。金色夜叉に頼っていた熱海は、時代に乗り遅れてあれよあれよという間に閑散となり、ヤクザがのさばる町になってしまうのです。

順調にいっているときこそ、将来に向けての盤石な備えをしていかなければなりません。そこを押さえていたダビデは大したもんです。

聖書ふれあい街歩き

●マオンとカルメル

ダビデが嫉妬に狂ったサウルに追われていた時期、用心棒をしながら糊口をしのいでいました。地方では牧畜や農耕従事者が隣国からの侵略や野盗からの略奪行為に遭うのですが、それらを追い払うことで得た報償の食べ物を部下たちと分け合っていたのです。守られていた一人がナバルです。ところが彼は食べ物を分けてくれと言ってきたダビデたちに、「お前たちがかってにやっているだけだろ。やるもんはねえ」と言ってダビデを激怒させてしまいます。結局彼は脳卒中？で急死し、その妻で、賢く振る舞ったアビガイルはダビデの妻になるのですが、ナバルが住んでいたのがマオンです。ユダ族の相続地としてヨシユア記に記載されている(15:55)場所です。彼が羊を飼っていた仕事場のカルメルも載っています。実は私は長い間、気に留めることもなく、このカルメルを「カルメル山」だと思い込んでいたのですが、ある時、「ずいぶん離れてるんじゃないか」と疑問を持ち、調べ直したところ、『カルメル山』ではなく、隣町の「カルメル」、つまり違う場所であったことが分かり、納得したことがあります。マオンからは10キロ程度。サウルがアマレクに勝った地でもありました(サム上 15:12)。

ななめ聖書 先週のこたえ

か	よ	い	も	お	ん	す	え	を
を	も	す	い	え	よ	お	か	ん
お	え	ん	を	す	か	も	よ	い
え	か	お	す	も	を	ん	い	よ
も	ん	を	よ	い	お	か	す	え
い	す	よ	か	ん	え	を	も	お
ん	を	も	え	よ	す	い	お	か
す	お	え	ん	か	い	よ	を	も
よ	い	か	お	を	も	え	ん	す

- ①しゅうぜいしょ
- ②けんこうなひと
- ③びょうにん
- ④えんかい



パウロの弁明

「兄弟であり父である皆さん、これから申し上げる私の弁明を聞いてください。」

パウロがヘブライ語で語りかけるのを聞いて、人々はますます静かになった。

パウロは言った。「私は、キリキヤ州のタルソスで生まれたユダヤ人です。そして、この都で育ち、ガマリエルのもとで先祖の律法について厳しい教育を受け、今日の皆さんと同じように、熱心に神に仕えてきました。

私はこの道を迫害し、男女を問わず縛り上げて牢に送り、殺すことさえしたのです。このことについては、大祭司も長老会全体も、私のために証言してくれます。

実は、この人たちからダマスコにいる同志に宛てた手紙までもらい、その地にいる者たちを縛り上げ、エルサレムへ連行して処罰するために出かけて行ったのです。」(使徒言行録22:1~5)



ステファノの殉教を近くで見つめるパウロ

【弁明の内容】

パウロは、ユダヤ人たちに、自分が主イエスによって救われ、自分に救いをもたらしたこの福音を信じてほしいのだと伝えようとしているのですが、その多くがユダヤ人であり、自分に対して反感を持っていることを承知していたので、聞く人が受け入れられるような切り口で話しています。

語る場合、その対象、聞く人たちがどのような人たちなのか知る必要があります。事前にどのような人の集まりであるのか聞くことができなければ、話しながら、聞く人を観察し、聖書の話は初めて聞いたのか、聖書を読んだことがあるのか、クリスチャンなのかを把握しようとしています。

説教者の端くれである私もそうなのですが、例えば、新来会者が来られた場合、礼拝に臨む姿勢で、その人がクリスチャンかそうではないかを瞬時に判断します。今はマスクをしている場合が多く、判断しかねる場合もありますが、使徒信条を暗唱しているか、賛美で口を動かしているかを観察します。若い子ならば、学校の課題で参加しているのかも探ります。そして、その上で、語る言葉に注意したり、その聞いている反応次第で、用意していた説教の論点をまったく変えることもあります。なので、メモはありますが、説教原稿はありません。とにかく、聞く人たちが理解できなければ、説教者としての使命を果たしたことになるのではないかと考えています。ですから、居眠りしている人がいたら、「眠らせてしまったかぁ」と反省をします。100人程度なら、すべての人の様子を見ながら話すことができる、それでないと説教者は務まらないと考えています。

話を元に戻します。パウロはこの状況で、ユダ

ヤ人に理解してもらえるように、あわよくば受け入れてもらえるように、ユダヤ人に寄り添った証しをしていることが分かります。パウロも連戦錬磨の説教者です。

まず、「ヘブライ語」、つまりアラム語で語り始めます。これは自分が日常的に使っている言語を用いたのではなく、「私はあなたがたと同じ民族なのだ」との強いアピールです。実際、これによって群衆は静まっています(22:2)。

次に自分が「熱心なユダヤ人として神に仕えていた」ことをあえて口にしました。「私はタルソスで生まれたユダヤ人である」とは、学究都市として有名なディアスポラ(外国寄留のユダヤ人)の町で、純粋にユダヤ教を信じていたという印象を与えています。「ガマリエルのもとで」は、当時の超一流の律法学者で、エリートとして認められていなければ師事できなかった、そういう学歴を明らかにしています。「厳しい教育を受け」は、そのガマリエルから将来を嘱望されていたことを伺わせます。さらに「熱心」であるからこそ、キリスト者を迫害していたのだと、過去も正直に語っています。これは「私は裏切り者ではなく、あなたがたと同じ熱心さを持っていた」との共感を呼ぶためです。そのために命令されればどこにでも行き、人を殺しさえしたのだと、だれよりも熱心であったことを訴えます。

その上で、今このようにされているのは、自分の意思ではなく、「神の主導」だったのだと語り、「律法に従って生活をしていた信仰にあついアナニア」(22:12)に洗礼を授けてもらい、さらに「神殿で祈っていて、神からの使命をうけとったのだ」(22:17)と語ったのでした。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

